

• 252: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 第4款健康福祉費第4項児童保健福祉費について、待機児童について伺ってまいりたいというふうに思います。

新年度を迎えるに当たり、郡市長は待機児童をゼロにするというふうに言っておりましたが、結果は44名ということを残して新年度をスタートいたしました。常任委員会でも議論していたことは承知をしておりますが、この決算等審査特別委員会分科会でもしっかりと確認をしてまいりたいという思いで質疑を行います。

決算年度を含め、直近3年間の待機児童の推移をお示しく下さい。

• 253: ○認定給付課長

検索語: なし

○認定給付課長 本市における4月1日時点の待機児童数につきましては、過去3か年の推移を見ますと、平成31年度が121人、令和2年度が91人、そして今年度が44人というふうになっております。

• 254: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 減ってきているとはいえ、残っているというのを冒頭お伝えさせていただきました。確認のため、これを解消するのは、いつの年度で行うのかをお示しをいただければ

というふうに思います。

• 255: ○認定給付課長

検索語: なし

○認定給付課長 待機児童につきましては、来年度当初の開所を目指しまして、今後保育二  
ーズの拡大が見込まれる地域に保育基盤の整備を行うほか、今回御提案しております1歳児受  
入推進事業などにより、既存の保育施設の有効活用を図るとともに、保育所入所に係る利用調  
整をこれまで以上にきめ細かく行うなど、各般の取組を総合的に進めてまいります。

• 256: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 今定例会にも補正で1歳児受入れ、要はそういうことを考えながら対応し  
ていくというの承知をしておりますが、受皿の確保、やはりその地域の格差が出ているとい  
うふうに思っておりますが、この環境整備について、決算年度を含め今後どういうふうに示し  
ていくのかをお示しいただければと思います。

• 257: ○環境整備課長

検索語: なし

○環境整備課長 私どもの計画でございます仙台市すこやか子育てプラン2020におきま  
しては、本年度から令和6年度までの計画期間中に700人分の保育基盤を整備、新たに確保

するという計画としております。

• 258: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 700人分示していただけるということでございますが、私も子育て応援をする立場で、その特定のエリアですかね。私たちで言うとあすと長町なんかを増やさなければいけないエリアであったと。また、袋原地区なんかを増やさなければいけないと。そこに手を挙げる団体の後押しなどもさせていただいておりました。

そのような中で、本当に既存の施設を生かしながら、1歳児受入れ、その制度を変えながらやっているというふうには認識をしておりますが、具体的にこの700人分を増やさなければいけないという話ですけれども、具体的なその方向性、もう一度答弁をいただければと思います。

• 259: ○環境整備課長

検索語: なし

○環境整備課長 プラン上では本年度の保育を必要とする児童、こちらを2万2188人と見込んでおりましたが、実際の入所申込児童数、こちらが2万1823人となっております。見込みを下回っているところでございます。この傾向はここ数年同様でございますことから、実際に保育を必要とする児童数、こちらはプラン上よりも少ない数で推移しております。また、プラン上では令和5年度当初をピークに保育需要は減少局面になると見込んでおりましたが、今後は新規整備の抑制を図りつつ、既存施設の有効活用などの取組を進めてまいりたいと

考えております。

• 260: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 待機児童については本当に環境整備を見直していただくなりで、ここには定義分の議論なので、その陰には隠れ待機児童もいるわけですから、新年度にはゼロにするということですから、実際にしっかりとそれを実行していただくように強く要望させていただきます。

今日も様々な子育て政策の議論が行われておりました。我が自民党では、明日には総裁選を控えている中で、各候補者がこども庁創設に向けても議論をしております。我が政府自民党でも、決算年度の2月に議論しているんですよ。そういう議論をしていたということは、当局は御存じですか、伺います。

• 261: ○子供未来局長

検索語: なし

○子供未来局長 やはりその子供の視点に立ち、大人になるまでの一連の政策を一元的に推進するそのような取組の先ということで、こども庁を創設するというような構想を話し合われていたということにつきましては承知をしております。

• 262: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　そうやって議論をしているようなことを承知をしていただいたことも感謝を述べたいというふうに思います。

そこで、いろいろな各自治体にアンケートを取っているわけなんですよ。その中に、トップスリーに入っているのが、事務の煩雑化なんですよ。上位はマンパワー不足だと。その行政に関わる職員も。そういった議論がある中で、事務の煩雑化について、事業者から私に結構改善してくださいという問合せが来ているんですね。その辺の認識は御当局はどのように感じているのかをお伺いしたいというふうに思います。

• 263: ○認定給付課長

検索語: なし

○認定給付課長　　保育現場におきましても、令和元年10月からの幼児教育無償化の実施など様々な制度変更が行われておりまして、現場における事務が煩雑化している状況にあるという事は認識してございます。

• 264: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　事務の煩雑化は認識していると。では、改善策何かあるんですかということをお伺いしたいと思います。

• 265: ○認定給付課長

検索語: なし

○認定給付課長 各施設の方々からはそういった煩雑化のこと、声というのは届いてございまして、そうした中におきまして、本市では申請様式の簡素化ですとか、申請様式の電子ファイルに自動計算機能を導入するというところの取組を行ってきたところでございます。

• 266: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 その自動計算機を入れているということですが、それを事業者が本当にちゃんと使われているのかというのは大きな疑問を持っております。そういったところ、現場に行って説明されているとかというのはあるんでしょうか、ないんでしょうか、お伺いしたいと思います。

• 267: ○認定給付課長

検索語: なし

○認定給付課長 現場に直接足を運んでというところまではございませんけれども、こういった形で申請様式の電子ファイルをある程度電子計算機能によりましてチェックがかかるというような形に変えたことによって、ミスが少なくなったという声は聞いているところでございます。

• 268: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　ミスが少なくなったとはいえ、やはり現場では非常に御苦労している声を聞いております。後段で先輩議員も語る述べますけれども、本当に子供を中心に、そして現場を中心に、事業者が分かりやすく改善するように、ぜひにお願いをしたいというふうに思います。

　　まだまだ実は述べたいところあるんですが、限られている時間なので、ぜひに事業者への説明、そしてそこには子供たちが中心なんだと、子供たちのためなんだと、そこには子育てしている世代のためにやっているんだということを強く求めて、私の質問は終わりにしたいと思います。